

第26回都城緩和ケア研究会

伝え合おう、学び合おう
～地域での緩和ケアのつながりを～

日時: 平成30年9月1日(土) 13:00～16:30

場所: 都城市北諸県郡医師会館 3階講堂

〒885-0073 都城市姫城町9街区3号

参加費: 1000円

TEL 0986-22-0711

時間	内容
13:00～13:30	開会挨拶 挨拶:荻田 幹夫(藤元総合病院 放射線科) 特別講演 『癌と深部静脈血栓症(DVT)』講師:馬見塚勝郎(藤元総合病院 在宅療養科) 座長:横山 晶子(三州病院 緩和ケア科)
13:30～15:00	演題発表【発表時間10分、質疑応答5分/演題】 座長:田中 洋(都城医療センター 外科)、タイムキーパー:廣瀬 美奈子(株式会社ソートフル) ① 患者の望む在宅医療を適切な時期に支援した一事例 三州病院 緩和ケア病棟 ○ 松元さやか 岩永裕可里 坂元麻衣子 上田美由紀 山下美穂子 久保田優子 中村千鶴 横山晶子 ② 退院支援が在宅での看取りにつながった一症例 国立大学法人 宮崎大学 宮崎市立田野病院 ○ 立山裕也 中尾直子 奥村智子 ③ 直腸癌再発で化学療法中に認知症状が出現した患者の地域との関わりを振り返って 都城市郡医師会病院 外来 ○ 和田宗志 飛松幸樹 山元智子 堀美幸 ④ 限られた医療資源を地域で活かす—緩和的放射線治療 アクセスの地域間格差— 藤元総合病院 放射線治療科1) 在宅療養科2) 三州病院3) ○ 荻田幹夫 亀田登 伊集院正臣 村田祐輔1) 馬見塚勝郎2) 横山晶子3) ⑤ 皮膚表出がんを有する聴覚障害者のある人の連携を通して ～在宅で自分らしく生活するためのチームアプローチの重要性～ 訪問看護ステーション優癒 ○ 日高幸子 安楽泉 鬼東智恵 徳丸依奈 住吉弥生 竹上さおり 谷口世志美 廣瀬美奈子 ⑥ 地域における緩和ケア研修(都城ELNEC-Jコアカリキュラム研修)の評価と今後の課題 都城緩和ケア研究会幹事 藤元総合病院1) 三州病院2) ○ 米丸順子1) 久保田優子2)
15:00～15:05	休憩 (5分間)
15:05～16:05	シンポジウム:地域での緩和ケアのつながり【発表時間20分/講師】 座長:荻田 幹夫(藤元総合病院 放射線治療科) ① 当研究会の立場から 講師:馬見塚勝郎(藤元総合病院 在宅療養科) ② 市の立場から 講師:築地洋子(都城市 健康部 介護保険課 包括ケア担当) ③ 県の立場から 講師:山下智代(宮崎県 福祉保健部 長寿介護課 医療・介護連携推進室)
16:05～16:20	全体を通して質疑応答
16:20～16:30	閉会挨拶 挨拶:横山 晶子(三州病院 緩和ケア科)

【問い合わせ先】〒885-0037 都城市花繰町3街区14号

都城緩和ケア研究会 事務局(三州病院内)

TEL0986-22-0230、FAX0986-22-0309

E-mail: sanshu2@mx71.tiki.ne.jp

事務局担当:久保田優子、丸田洋奈

共催 都城緩和ケア研究会/第一三共株式会社